

「西大路小学習フェスタ」で相手に伝える力の育成を

11月23日(土)に「地域ふれあいDay」として「西大路小学習フェスタ」を開催しました。朝から天候に恵まれ、多くの保護者、ご家族、地域の方がご参加くださいました。

今年度は、生活科、社会科、理科、総合的な学習の時間で学習した内容を模造紙などにまとめ、それをご参加いただいた方々に説明をしました。人を前にすると、子ども達は緊張して大きな息を吸ってから説明を始める場面が見られました。



1・2年生では、生活科で秋の自然の材料や身のまわりにあるものを使ってのおもちゃランドやゲームコーナーを行いました。

3年生では、社会科での地域学習や理科のゴムのはたらきによる自動車作りなどを行いました。

4年生では、妊婦さんのこと、介助犬や車いす、アイマスク体験など福祉について発表しました。

5年生では、田んぼの子で行った田植え、稲刈り体験、また、社会見学で学んだ自動車工場の工業について発表しました。



6年生は、プログラミング学習を行ってきたことを生かして、プログラミングについてのプレゼンを行いました。

本校では、国語科で話す力を高めることを校内研究としています。この学習フェスタで訪れてくださった方に、「相手に伝える」ことを通じて話す力を高める機会とし、コミュニケーション能力を培うこと

もねらいながら、その力の育成に努めています。

ご参加いただきました皆様、子ども達の学びの様子をご参観いただき、ありがとうございました。

がんばったね、全校綿向山登山

11月10日(日)に「全校綿向山登山」を行いました。今年は、快晴に恵まれ、子ども達は、高学年のリーダーを先頭に元気よく坂道を歩き始めました。正午前に全員が登頂することができました。昨年できなかった『綿向賛歌』を全員で歌いました。



そして、下山を始めました。帰り道は急坂が多く、また、狭い道も多いので、安全に気を付けながら歩を進めました。危険な個所では、上級生が下級生の手を取ってあげたり、温かく見守ってあげたりと世話をしてくれました。このような姿に感動を覚えました。こうした縦のつながりを大事にしなが、午後3時30分ごろ、全員が無事下山することができ、閉式を行いました。今回は、日曜日ということもあり、多くの保護者・ご家族の方がご参加くださり、この行事を支えてくださいました。



この全校登山を実施するに当たり、ボランティアの皆様、一緒に登ってくださった多くの地域・保護者の皆様に、ご支援・ご協力を賜りましたことを御礼申し上げます。

<文責：校長 正野新造>